

大谷 杏准教授の模擬授業

教育

フィンランドの公立図書館から地域社会教育施設の活用を考える

講師:大谷 杏

公民館、地区センター、図書館など、皆さんの身の回りにはたくさんの社会教育施設があります。中には、日頃からこれらの施設を頻繁に利用しているという人もいるでしょう。

サンタクロースやムーミン、オーロラで有名な北欧の国フィンランドでは、図書館は読書、音楽鑑賞、学習の場に留まらず、様々な機能を併せ持ち、地域住民のリビングルームとしての役割を果たしています。

この講義では、フィンランドの現地の写真や動画を交えながら、図書館内の様々な設備(音楽演奏ルーム、台所、ホール)や各種イベント、移民に対する取り組みを紹介していきます。日本の社会教育施設にも生かせることがないか、一緒に考えてみましょう。

■ 受講人数の目安:30名～

■ 所要時間の目安:60分～90分

■ 高校でご準備いただきたいもの: パソコン(パワーポイント)

国際

日本の中の「多文化」を見つけよう

講師:大谷 杏

日本には2017年現在、約247万人の(3か月以上日本で生活する)在留外国人の人たちが暮らしています。特定の地域に集住していることが多いので、皆さんの中には馴染みがない人もいるかもしれません。

この講義では、統計を確認しながら、集住地域への理解を深め、各地の多文化的状況について考えていきます。商売のため、戦争により、難民として、労働力としてなど、様々な理由のもとに来日した人々の暮らし、彼らが集う場、外国人学校などの教育施設について紹介します。国内の多文化や支援する日本人ボランティアの存在に目を向けてみましょう。

■ 受講人数の目安:30名～

■ 所要時間の目安:60分～90分

■ 高校でご準備いただきたいもの: パソコン(パワーポイント)